

《健康領域：人の健康》 基本目標 1：一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

個別目標 1-1 「心身の健康を維持・増進する」

施策の方向性	一人ひとりが健康を意識し、健康づくりに取り組み、身体・心の健康が維持・増進される環境をつくります。	
構成する めざす成果	1-1-1 「市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる」	
	代表的な取り組み	保健師による訪問活動、がん検診の受診機会の拡大など
	1-1-2 「心身の健康を維持・増進するための体制が整っている」	
	代表的な取り組み	65歳以上のインフルエンザ予防接種の助成、自殺防止対策の推進など

前回の評価結果（平成 21～23 年度分）

市民意識調査によると、「あなたは、健康であると思う」市民の割合と「あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う」市民の割合については、以前に比べいずれも伸びており、一定の評価ができるものと考えます。今後は、各種検診の推進により、疾病が早期に発見され、市民の健康維持に繋がっているかについて、この先数年かけて検証していくことが必要と思われます。一方では、一部のがん検診などにおいて当初は飛躍的に受診率が伸びたものの、現在、伸び悩んでいるものもあります。働く世代を中心により一層のPRに努めることに加え、週末の検診機会を拡大するなど、より受診しやすくなる工夫を行い、市民一人ひとりの健康づくりをさらに助長していくことが必要と考えます。

また、自殺者の割合は、平成 23 年には県の平均値を下回り、これまでの取り組みが自殺者の減少につながっていると考えられます。今後も、市の取り組みなどを周知することで自殺予防に向けた意識啓発を一層促すことが必要です。さらに、自殺に傾く人々に対して注意を払いながら相談にのることができるこころサポーターの養成に継続的に取り組むことなどで自殺の未然防止を図っていくことが望まれます。

追加の評価（平成 24～25 年度分）

今後の施策展開に向けて